

(様式第3号)

政務活動報告書

会派名 (会派未来ネット)

活動事項	市町村議会議員特別セミナー
活動年月日	令和7年4月21日(月)～令和7年4月22日(火)
場所	千葉県千葉市 市町村職員中央研修所
活動の相手	市町村アカデミー
参加議員名	勝田鮮二・米村京子
目的・内容 ・結果等	別紙報告書のとおり
関連する 支出伝票番号	1・2・3

視 察 報 告 書 (委員用)

2025 年 5 月 20 日

鳥取市議会議長 様

鳥取市議会
勝田 鮮二



令和 7 年 4 月 21 日から令和 7 年 4 月 22 日まで市町村議会議員特別セミナーに参加したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

日時；4 月 21 日（月）11：00 入寮受付⇒市町村職員中央研修所内
13：30～19：00（市町村アカデミー内）
千葉県千葉市美浜区浜田一丁目-1

<講演 1> 13：30～15：00

{地域の宝} を世界のひらく世界遺産の可能性

講師；葦津（あしず）敬之氏（宗像大社宮司、宗像国際環境会議副会長）

1) 講演の概要について

九州、福岡市⇒日本神話と宗像（むなかた）大社を世界遺産へ
8 万点に及ぶ国宝を、どう利活用して来訪者や観光客をふやしていくのか？力強く力説講演。

<所見>

- ・ 2024 年に登録された⇒佐渡銀山の事例を紹介され、学校や企業を通じて底上げし、維持発展させていくこと、そして小さな額を長く続けながら、安く運営をして行くことが大事と聞き、参考となった。
- ・ 宗像国際環境会議⇒なぜ環境問題に取り組んでいるのか！解説
 - ① 海上温度の上昇
 - ② 磯焼け発生
 - ③ 漁獲の減少
 - ④ 海洋ゴミが増
- ・ 海を中心とした実践活動を実施され、宗像が目指すところを追求。
 - ① 年 1 回、宗像国際会議を開催
 - ② 海の再生⇒竹魚漁礁づくり、海洋清掃
 - ③ 地元、高校生向けの育成プログラム
 - ④ 豊饒祭、稚魚放流行事
- ・ 上記⇒みんなで話し合っ、決定して推進して行くことが大事だ。

<講演 2> 15:15~16:45

議員視点からの地方創生のアイデア

講師；牧瀬 稔氏（関東学院大学法学部地域創生学科教授）

1) **講演の概要について**

2016 年 12 月 14 日に官民データ活用推進基本法が制定・施行され、政策づくりに活用できるデータが整備されつつあるので、多いに活用していくことが重要であり、人材育成も必要である。

<所見>

- ・将来人口推計を冷静に判断することが重要である。
- ・地方創生の方向転換も意識しつつ、地方創生に取り組んで行くことが大事。
- ・人口減少の克服は、自然増、社会増しかない。

自然増⇒出生数の増加（既婚者・独身者）と死亡数の減少（高齢者・高齢者以外）しかないとのこと。

社会増⇒既存住民と潜在住民しかないとのこと。

いずれの政策も、盲点に気が付かなくてはならないとの事がよくわかった。

- ・データをしっかり押さえて、政策づくりを進めると成功するし、失敗の確立を減らせると確信できた。

<情報・意見交換会・夕食> 17:30~19:30

他市町村議員と意見交換会

- <所見> 自己紹介や名刺交換を通じて、参加した議員との情報や意見交換・悩みなど共有し合いながら、市町村民からどのような方法で、意見を着ていくのか！様々な問題や意見を、どう行政に活かしていくか！多くの意見を交換できました。
- とても参考になったし、今後の議員活動につなげて行きたい。

4月22日(火) 9:00~12:20

7:15~8:45⇒朝食

<講演3> 9:00~10:30

質問力を高める、議会にいかす

講師；土山 希美枝氏（法政大学法学部教授、政治学博士）

(1) 講演の概要について

政策議会としての議会、一般質問の機能と制度、一般質問はなぜ機能していないか、機能させるためには、争点を発見し現状をとらえ分析するための情報収集が必要である。

<所見>

- ・機能する一般質問⇒問いただき方を考えること。わかりやすく語るための工夫を考えること。問いただしていること聞いてほしい相手は誰か。街の課題を捉えているのか。
- ・いい質問とは⇒何が問題なのかが明確で、その論点提起に納得させられているか。政策提案が具体的か、市町の状況を反映しているか。一般質問の「その後」を追跡したり、議会だよりなどで掲載したり、市民に訴えることも重要であること。

今回の講演を聞き、おおいに参考していき、議員として取り組んで行きたい。

<講演4> 10:45~12:15

先進事例から学ぶ～成功する公共施設マネジメント

講師；南 学氏（東洋大学国際PPP研究所シニアリサーチパートナー）

(1) 講演の概要について

縮充への発想と実践⇒小学校、図書館、公民館、体育館を複合化、削減、縮充していくことを、他都市の先進事例を解析しながら説明していくことで、各行政に参照していく。

<所見>

- ・老朽化施設への対策は急務であるが、更新費用の財源確保が課題であることは、よくわかった。
 - 2011.3.11⇒東日本大震災九段会館（東京）天井崩落
 - 2012.12.2⇒中央自動車道、笹子トンネル天井崩落
 - 2018.6.18⇒大阪北部地震、高槻市小学校ブロック塀崩壊事例の紹介しながら、分かりやすく説明があり参照したい。
- ・総合管理計画の見直しと長寿命化。

個別計画を反映させて、学校施設は6割の経費で30年のばす？十分な議論が必要だが、スピード感も必要だ。

- ・公共施設の包括保守点検委託が第一歩で、誰が施設の安全管理に責任を持つのか？とても重要と感じた。
- ・包括委託で常駐技術者を配置すれば、現場巡回機会が増加し、実質的に、7割程度の時間を現場巡回に充てられ、不具合所も発見されやすいし、将来的には職員2名の減員も可能となり、他部署への配置が可能になると感じた。
- ・学校などの公共施設の点検（躯体、設備）、簡易修繕（漏水など）包括委託により、時間・コスト削減につながると思った。
- ・安全計画の策定が、とても重要と感じた。
 - ・学校、大規模施設から抽出（人口10万人で100施設）
 - ・建物診断の専門家に劣化診断を委託する
 - ・一定の基準で劣化度を点数化する
 - ・優先順位の高い施設の複合化・多機能化プラン策定
 - ・対象施設以外は事後保全とする優先順位の客観的判定が可能となり、課題などわかりやすいと感じた。
- ・公民館に複数の部屋・室は日々の利用は、ほとんどなく必要面積（150～200m²）アコーディオンカーテンなど、自由に部屋の大きさを利用によって変化させるレイアウトなど有効な方法と思った。
- ・体育館よりも、目的別スポーツ施設の方が有効と感じた（明石市）
- ・統合小学校を地域の「核施設」に（山形県西川町、人口6千人）
学校敷地内に図書館、体育館、駐車場100台分設置しているのは、効率的で小さい街にはとても良い取り組みと感じた。
- ・中学校敷地内に市民体育館設置（愛知県半田市、人口11万人）
- ・廃止した中央公民館を学校に機能移転（愛知県高浜市7万人）
- ・公民館機能を分析し、縮充して学校敷地内に移転（愛媛県西条市10万人）

多くの先進事例を紹介していただき、とても参考となった。本市の今後に参加としていきたい。

令和7年度市町村議会議員特別セミナー報告書

令和7年5月28日

鳥取市議会議長 星見 健蔵 様

会派未来ネット 米村 京子

令和7年4月21日（月）～令和7年4月22日（火）

会場：市町村職員中央研修所（市町村アカデミー）

千葉県美浜区浜田1丁目1番地

4月21日（月）日程

11:00～12:30 入所

11:30～12:50 昼食

13:00 開講

演題1 13:30～15:00

『地域の宝』を世界にひらく世界遺産の可能性

講師 宗像大社宮司、宗像国際環境会議副会長 葦津 敬之 氏

演題2 15:15～16:45

議員視点からの地方創生アイデア

講師 関東学院大学法学部地域創生学科教授 牧瀬 稔 氏

16:45～16:50 事務連絡

17:30～18:30 情報意見交換会（夕食）

4月22日（火）日程

7:15～8:45 朝食

演題3 9:00～10:30

質問力を高める、議会力にいかす

講師 法政大学法学部教授・政治学博士 土山 希美枝 氏

演題4 10:45～12:15

先進事例から学ぶ～成功する公共施設マネジメント

講師 東洋大学 PPP 研究センター客員研究員 南 学 氏

<所見>

市町村アカデミーには年間多くの利用があるため羽田空港から市町村アカデミーへの直行バスがあれば良いと感じた。研修内容は大いに参考になるもので、もっと早くに受講していればと大変悔やまれた。一般質問等今後の議員活動につなげていくための大変重要な研修であった。

(様式第3号)

政務活動報告書

会派名 (会派未来ネット)

活動事項	行政視察
活動年月日	令和7年10月13日(月)～令和7年10月14日(火)
場所	愛知県豊田市・静岡県浜松市
活動の相手	愛知県豊田市・農研機構 中日本農業研究センター
参加議員名	勝田鮮二
目的・内容 ・結果等	〈視察項目〉 豊田市 ・「小・中学校の体育館の暑さ対策について」 農研機構 中日本農業研修センター ・「良食味多収水稻品種を活用した再生二期作技術に係る講演会 及び現地検討会」 〈所見等〉 別紙のとおり
関連する 支出伝票番号	25. 26

視 察 報 告 書（委員用）

2025 年 11 月 10 日

鳥取市議会議長 様

鳥取市議会
勝田 鮮二



令和 7 年 10 月 13 日から令和 7 年 10 月 14 日まで行政視察に参加したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

日時；10 月 14 日（火）9：00～10：30 愛知県豊田市立、朝日ヶ丘 5 丁目 34 番地
豊田市⇒人口；414, 512 人 面積；918.32km² 議員数；45 名
世帯数；190, 795 世帯 市制施行；昭和 26 年 3 月 1 日
面会者；

<朝日ヶ丘中学校>

小・中学校の体育館の暑さ対策について

<事業概要>

- ・小中学校の普通教室について、令和元年度に空調設備の整備を完了したが、体育館・武道場については未整備とのこと。
- ・近年の夏の暑さに、早急に対応するため、R6 年～7 年度にかけて体育館・武道場（102 校・127 施設）に空調設備を整備するとの事。
- ・都市ガス供給エリア⇒GHP（ガスとプロパン）を選定設置
- ・ * 未供給エリア⇒EHP（電気とプロパン）を選定設置

（各学校からの声はどうか？）

- ・熱中症の生徒が減った。
- ・児童生徒の集中力があがり、笑顔が増えた。
- ・教職員から、その日のWBGTに応じて、体育の授業カリキュラムを変更せずにすみ、助かっている！と説明あり。

（運用後の課題や評価はどうなっているか？）

- ・空調機器の運用方針では、夏季の温度設定を明確に規定していないため、学校ごとに温度や風量の設定が異なる。
- ・喚起のために開放する開口部の大きさが、学校ごとに異なるため、電気使用量など確認し、必要に応じて運用方針の見直しも検討する！予定とされている。と説明あり。

<所見>

- ・避難所に位置づけられた体育館⇒災害時に電気や都市ガスが停止になった場合でも一定期間稼働できるよう、自立型GHPを整備されていて、本市の参考にしたい。
- ・都市ガス供給エリアの避難所⇒平時は都市ガスとLPガスで全ての空調設備が稼働できるようガスの切り替えバルブを設置してあり！との事。おおいに参考としたい。
- ・都市ガス未供給エリアの避難所⇒平時も災害時も全ての機器がLPガスで稼働できるようになっている！参考としたい。
- ・総事業費と設置の考え方；65億円

1／2⇒国の補助金としている。

残りは、地元負担（2年間で捻出）とされているが、目線が、子ども達の熱中症対策と公平公正な教育の観点で全学校の体育館や武道館に設置されており、とても参考となった。本市の行政も参考し、すべてにおいて設置するべきと考える。

10月14日（火）13：00～17：30 静岡県浜松市（アクトシティ浜松3階）
農研機構）中日本農業研究センター）橘田和美 所長様
浜松パワーフード学会）秋元健一 会長様

再生2期作について

<講演1>13：25～14：30

講師；農研機構）中日本農業研究センター）中野洋 主席研究員様

<テーマ> 良食味多収水稻品種を活用した再生2期作技術の開発・普及

(1) 講演の概要について

農研機構⇒1981年（昭和56年）農林水産省、農業研究センターに再編
2001年（平成13年）独立行政法人農業技術研究機構、中央
農業総合研究センターに再編

2021年（令和3年）独立研究開発法人、農業・食品産業技術総合研究機構、中日本農業研究センターに再編

<農業研究センター>

・北海道 ・東北 ・中日本 ・西日本 ・九州沖縄
・農業機械研究部門など設置している。

<実施する研究>

都市近郊における高品質野菜生産システムのグリーン化の実現、水田長期畑輪作におけるデータ駆動型畑作物複合経営の構築、湿潤・重粘度に適した排水対策や作付け最適化による、高収益輪作体系の構築と輸出拡大に向けた研究開発を行う！とされている。

<講演2>14：25～14：55

講師；じゅんちゃんファーム(株) 代表取締役）宮本純 様

浜松パワーフード学会）会長）秋元健一 様

<テーマ> 浜松市における水稻品種「にじのきらめき」を活用した再生2期作への挑戦

(1) 講演の概要について

農研機構より、品種や農作方法を研修しながら、再生2期作の取り組みを開始した。

実践を通して、良いところ、悪いところを注出しながら、耕耘～植え付け～水管理～1回目の刈り取り～水管理～2回目の刈り取りを行う。

そして、問題点を出し、一つずつ検討し、解決していく。

<現地・圃場視察 100 名> 16:00~16:50

じゅんちゃんファーム⇒大型バス 2 台

4 月; 田植え (水稻品種; にじのきらめき)

9 月; 特殊コンバインにて刈り取り済 (株 30~40cm 残す)

<所見>

- ・それぞれの地域に合う、品種の開発が必要で、気候が暖かく温暖な地域が適しており、千葉より以南の太平洋側や瀬戸内、九州、沖縄などが有利、のようだ。
- ・農研機構が、これから様々な地域で生産できるよう研究開発していき、全国で生産可能となるよう普及していく。とのこと、本県本市でも労働力不足、高齢化に対応した農業方法と感じた。
- ・日本海側でも、生産可能となれば、今後の農業発展に寄与できるものと、確信できると感じた。

<講演 2> 14:30~14:55

講師; 宮本純 代表取締役 (じゅんちゃんファーム株)

浜松市における水稻品種「にじのきらめき」を活用した再生 2 期作への挑戦

現地視察⇒じゅんちゃんファームの圃場へ移動 16:00~17:00(100 人参加)

(1) 講演後、現地に出向き説明・質疑について

- ① 圃場の大きさ⇒1 枚あたり 50a~1 ha 以上に区画整備
- ② 1 回目の刈り取り高さ⇒20cm と 40cm に分類し検証した。
- ③ 刈り取りコンバイン⇒汎用タイプ、前面回転式を 1 台購入~2000 万円
- ④ 水管理方法も指導受けながら、適性期に圃場へ水を入れる。
- ⑤ 人員体制の確立検証

<所見>

- ・収穫は 1.5 倍となったが、品質が少し悪く、2 回目の収穫は人の食に影響はないが、今後、研究して良品質すれば採算向上につながっていくとのこと。
- ・1 回目の刈り取り高さは、40cm の方が収穫量増すとのこと。
上記 2 項は、令和 8 年産は、改善し品質向上は出来ると自信を見せておられ、大いに全国に発信頂き本市が生産できればと、期待したい。省力化の大きな農法なので、本市も積極的に研究開発さらに、実践して行くべきと感じた。

(様式第3号)

政務活動報告書

会派名 (会派未来ネット)

活動事項	行政視察
活動年月日	令和7年11月17日(月)～令和7年11月19日(水)
場所	茨城県水戸市・茨城県境町・茨城県古河市
活動の相手	(有)照沼農園・茨城県水戸市・茨城県境町・茨城県古河市
参加議員名	勝田鮮二・長坂則翁・米村京子
目的・内容 ・結果等	〈視察項目〉 (有)照沼農園 ・「米の再生2期作について」 水戸市 ・「水戸市民会館・水戸芸術館について」 境町 ・「移住定住について」 古河市 ・「スポーツフェスタ古河2025について」 〈所見等〉 別紙のとおり
関連する 支出伝票番号	30～36

視 察 報 告 書（委員用）

2025 年 12 月 11 日

鳥取市議会議長 様

鳥取市議会、“会派”未来ネット

勝田鮮二



令和 7 年 11 月 17 日から令和 7 年 11 月 19 日まで行政視察に参加したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

日時；11 月 17 日（月）14：30～16：30、茨城県水戸市元石川町 2724-1

面会者；（有）照沼農園⇒照沼洋平社長

<（有）照沼農園>

米の再生 2 期作について

<事業概要>

・新農法について

令和 7 年、10 月静岡県浜松市と 11 月の会派視察で茨城県の水戸市で行われている、米の再生二期作や乾田直播等の新しい栽培手法について説明を受け、直接農場がある現地へ出向き、直接説明を聞き、多くの質問をしながら、本当に本市で実施可能かどうか？尚、再生二期作については、10 月 23 日の地元紙でも、大きく紹介され、「再生二期作、鳥取で可能か？」、昨今のコメ不足や米価高騰を背景に、低コストで増産が期待出来る農法として、全国で注目を集めている！温暖化で水稻の生育可能な期間が延び

ていることに、着目した農法で4月～5月上旬に田植えをし、1回目の刈り取りを9月頃、刈った切り株から、伸びてくる、ひこばえ（2番穂）を実らせ、11月～12月に、もう一度収穫する。つまり、1度の田植えでコメを2度収穫する、ということ。

この農法は、温暖な地域が適しており、千葉以南の本州太平洋側や瀬戸内、九州、沖縄などで約60haで導入されているとのことでありました。

本市の橋本にある鳥取県農業試験場や倉吉市にある県立農業大学校において試験が行われている段階である。

農業生産法人）有）照沼農園）照沼洋平代表取締役と現地に向き、取り組み概要や失敗事例、新農法の取り組みの説明を聞きました。2004年の創業。自社所有17haと委託5haでコメ生産をメインとしつつ、2020年から農福連携を活用し、26aで水耕栽培にも取り組んでいました。

再生二期作は、3年前より取組んで、ようやく確立生産できると思ってきた。

思い立ったのは、福祉施設に納品していたが、近年の物価高騰により、値上げの申し入れをしたが、とにかく1食いからの経営なので、何とかならないか！との相談を受けたことが、キッカケとのこと。農研機構に相談し、再生2期作をして見ないか？との

声かけにより、取り組み、試行錯誤しながら、ようやく本年度より生産できるようになり、今や大手支店⇒吉野家・ローソンと提携し、プレコン 1000kg で納品しているとの事。

個人販売も順調に推移し始め、いまや沖縄石垣島にも生産拠点を拡大した。

品種は、農研機構から指示された【品種】4月に田植え⇒9月、1回目、40cm 株を残し刈り取り、水管理をしながら、11～12月に2回目の収穫。本来汎用型回転式のコンバインにて刈り取りするが、費用 2000 万円と高額な為、さらに小さく変形した圃場もあるため、4条狩り一般コンバインで刈り取りしている。基本 50a～1ha が理想とのこと。収量は、1.5 倍～2 倍弱、肥料・消毒は、ドローンにて散布し、免許は職員が取得している。とのこと。

<所見>

- ・育苗や田植えの手間を省略しつつ、年に二回の収穫を実現させることは、コスト削減や収量の増加が期待でき、有効な技術と考える。本市への導入を多いに考えて行くべきと感じた。
- ・本来汎用型回転式のコンバインにて刈り取りするが、費用 2000 万円と高額なため、支援策が必要と思った。
- ・基本 50a～1ha が理想とのことだが、本市の状況は 10a～30a が中心のため、一般のコンバインで刈り取れる対応が必要と思った。
- ・肥料・消毒は、ドローンにて散布し、免許は職員が取得している。

とのこと。この免許取得は、30万円位必要で、さらに免許取得したメーカーのドローンしか使用できないので、支援とシステムの緩和が必要と思った。

- ・品種選定が重要と聞くので、農研機構など協働して決定して、早急に導入方向で取り組むべきと感じた。
- ・今回、視察した照沼農園の照沼洋平社長は、水戸市と石垣島に生産拠点を持って、活躍しておられます。

鳥取に行きて講演・説明してほしいと要請あれば、いつでも鳥取迄行きますよ！と快く声を頂きましたので、是非多くの農家の皆さんに聞いて頂き、楽に！安く！生産可能な再生2期作を本市にも導入できる体制づくりを構築するべきと感じた。



日時；11月18日（火）9：30～11：30、茨城県水戸市

面会者；水戸市民会館運営事務局）大川英樹マネージャー 様
水戸市民会館）館長 様

<現地視察>

茨城県水戸市泉町1丁目7番1号

水戸市民会館について

<事業概要>

建築構造；RC造、一部S造、 木造；地上4階・地下2階建て

敷地面積；8, 284.95 m²

建築面積；6, 952.37 m²

延床面積；21, 808.04 m²（建物全体；23, 232.35 m²）

<設計者>

伊藤豊雄建築設計事務所・横須賀満夫建築設計事務所共同企業体

<施工者>

竹中・株木・鈴木良・葵・関根特定建設共同企業体

<諸室の概要>

地下B01⇒20 m² 6人

地下B02⇒24 m² 6人

1階（大ホール）⇒客席2000席（1階席；1293 2階席；333 3階席；374）
車いす席⇒最大26席

やぐら広場⇒280 m² 500人

小楽屋⇒5室 中楽屋⇒2室 大楽屋⇒2室

2階（展示室）⇒425 m² 240人（分割可）

スタジオ2室 音楽室3室 調理室1室 工作室1室

3階（会議室）⇒大会議室420 m² スクール形式270人・シアター形式440人

小会議室4 中会議室4 特別会議室2

4階（中ホール）⇒客席482席 車いす席⇒最大6席

中ホール楽屋3室

（小ホール）⇒245 m² スクール形式150人・シアター形式192人

平土間形式 小ホール楽屋2室 和室2室 板の間22畳

*スクール形式；長机を使用する形式

*シアター形式；椅子のみの形式

<事業の費用>

4大プロジェクト⇒市役所186億円 水戸アリーナ95.7億円

清掃工場356億円 新市民会館192億円

水戸市の負担額；92億円

<所見>

- ・様々なイベントを想定された大～小ホールが配置されており、コンサートや講演会など多目的に適用でき、素晴らしい会館と感じた。本市の複合化の参考としたい。
- ・駐車場も地下 200 台分の確保し、路線バスも 1800 本も運行されており、市民の交通アクセスも考慮されていると感じた。
- ・街なかの真ん中へ移転し、水戸偕楽園や弘道館などとアクセスを良好にし、隣の水戸芸術館とも共有でき、素晴らしい取り組みと感じた。
- ・4 大プロジェクトにおいて、費用面において、市民サービスに影響が出ないことを丁寧に広報しながら、市民アンケート・ワークショップなど開催しておられ、さらに市議会特別委員会も延べ 30 回も開催しながら、進められており建設までの計画の努力を感じた。
- ・1 階のやぐら広場は、木製の柱・梁で組み上げられた、屋内広場となっており、販売会やパネル展示、スポーツ観戦などのパブリックビューイングが開催出来、素晴らしい市民会館となっていた。本市も多いに参考とすべきと考える。



日時；11月18日（火）9：30～11：30、茨城県水戸市

面会者；水戸芸術館）上田事務局長 様
水戸市）市民協働部）文化交流課）上原純大課長 様
水戸市）議会事務局）議事課）島田祐輔書記 様

<現地視察>水戸市五軒町 1-6-8

水戸芸術館について

<事業概要>

水戸市制 100 周年を記念し、平成 2 年（1990）に開館した複合文化施設。

音楽・演劇・美術が鼎（かなえ）のようになり、2025 年で開館 35 周年を迎えた。吉田秀和初代館長・小澤征爾前館長の方針を拡充し、間口を広く市民に親しまれながら、まちの発展から世界の文化の発展まで、大きな役割を果たしていくよう努めていく。

（水戸芸術館の運営基本理念）

- ・新しい芸術文化を創造する
- ・国際的な視野にたって芸術文化の交流を行う
- ・楽しみながら考える
- ・市民の芸術文化活動の拠点となる
- ・都市の活性化に寄与する

（設計期間）

昭和 61 年 1986 年 12 月～昭和 63 年 1988 年 2 月

（施工期間）

昭和 63 年 1988 年 3 月～平成 2 年 1990 年 2 月

（主体構造）

鉄骨造り（塔）、鉄骨鉄筋コンクリート造り、鉄筋コンクリート造、地下 2 階、地上 4 階

（駐車場）

217 台、営業時間 7：00～23：00

（総事業費）

103 億 55、842 千円

塔

シンボルとして建てられ、市制 100 周年を記念して⇒高さ 100m
内部には、円形ガラス張りのエレベーターを設置し、地上 86m
の展望室まで昇ることができる。

エントランスホール

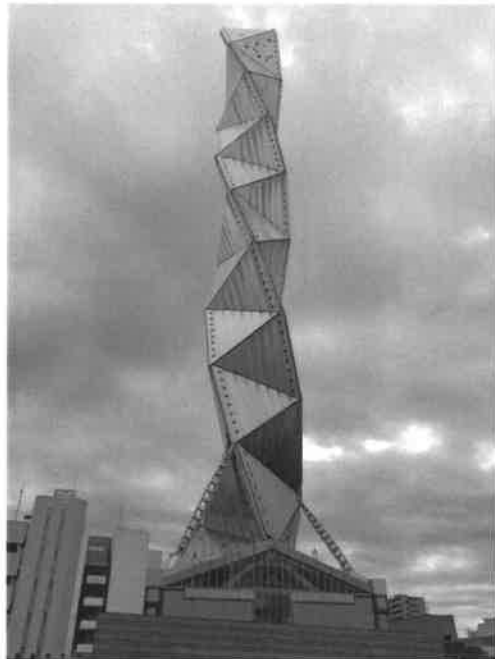
訪れる人のための共通の玄関ロビー。パイプ総数 3283 本の国産最大級のパイプオルガンを設置。入場無料の「プロムナード・コンサート」を、月に数回週末に開催している。

広場

開放的な緑の芝生の広場では、コンサートやフリーマーケットなど街に賑わいをもたらすイベントの他、夜はシンボルタワーを季節や記念日等によって変化するライトアップで彩るなど、四季を通じて市民の憩いの場となっている。

<所見>

- ・有名な世界指揮者の小澤征爾さんが、館長を務められたことに、驚いた。
- ・水戸芸術館の隣に市民会館や京成百貨店があり、周辺には日本三大名園のひとつ水戸偕楽園もあり、アクセスも良く市民や観光客の利便性が、良く考えられていると感じた。
- ・エントランスホールの3283本のパイプオルガンには、圧倒された。
- ・館内には、レストラン、コーヒーラウンジ、アートショップなど配置され訪れた人を飽きさせない工夫がされており、本市の複合施設建設に多いに参考としたい。



日時；11月18日（火）14：30～16：30、茨城県猿島郡境町 391－1

面会者；(株)さかいまちづくり公社⇒新井様 他2名

<（株）さかいまちづくり公社>

移住・定住について

<事業概要>

新手法による移住者施策について、

茨城県境町では子育て世帯、新婚世帯をターゲットに移住支援を行っていて、大変効果的な取り組みを推進しており、効果がでていているとしています。

【境町の取り組みを紹介】

茨城県境町の PFI 住宅事業の取り組みについて、

人口；24000 人、面積； Km2、東京まで高速バス90分

何もしなければ、令和7年には、3000人減少する！との危機感から取り組んだ事業との事。

PFI 住宅事業とは、(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)、公共施設等の建設・維持管理・運営等を、民間企業の持つ経営ノウハウや資金を活用することにより、低廉(値段が安い、値段が少ないこと)かつ良質な公共サービスを提供することを目的とした公共事業の手法です。

【メリット】

- ・建設、維持管理費⇒町の持ち出し0円が可能
- ・財政負担の軽減・平準化
- ・民間のノウハウ活用による低廉かつ良質な公共サービスの提供
- ・民間への新たな事業機会創出・経済活性化への貢献

【デメリット】

- ・事業の発案から事業者選定までに、時間がかかる

【事業概要】

<PFI 法>を活用し、子育て世代を主軸とした中堅所得者向け定住促進住宅を利便性の高い地区に供給し、これにより、快適な住まい環境を創出し、境町の定住人口の増加や地域の活性化を図るなど、4点に配慮して事業を行うこと。

- ① 良質なサービスの提供
- ② 周辺環境との調和
- ③ 地域経済の活性化
- ④ 子育て支援

とし、建設費の概ね 50%は、社会資本整備総合交付金を充当し、残り50%は民間事業者が資金を調達する。

町は、入居後の家賃収入の中から、建設費及び維持管理費を 30 年間で分割して、民間事業者に支払う！としている。

【町の PFI 事業取り組みの経緯】

町長、自ら先頭に立ち、導入したいと考え、先進地の視察を実行。

2015 年⇒神奈川県山北町で PFI 住宅視察(全国で初の導入)

(執行部・議員・地元建設業者)同行

そして、佐賀県みやき町を視察

(執行部・議員・地元建設業者)同行

2016 年⇒佐賀県みやき町を 2 度目の視察

(執行部・議員・地元建設業者・不動産関係業者)同行

PFI 事業・整備事業、実施方針を公表した。

2017 年⇒議会にて債務負担行為、承認

工事着工と同時に、入居者募集開始し、

2018 年⇒30棟が完成し、入居開始

その後、毎年、2期工事⇒3期工事⇒4期工事⇒順調に入居が進み

2023 年には、5期工事と移り、完成⇒入居の運びとなり、私たちが視察

した時には、第7期事業となっており、すべて完売との事でした。

【主な入居条件として】

- ・対象者;子育て世帯・新婚世帯・(町外から転入する世帯を優先)

- ・所得要件;月額 158, 000 円以上 487, 000 円以下

- ・家賃;月額約 50, 000 円～80, 000 円

<所見>

【入居の好評・好調な理由は！】

- ・初期投資(住宅ローン)がいない。
- ・固定資産税が要らない。
- ・火災保険が要らない
- ・何と言っても、3LDK、木造2階建て、駐車場2台分、床面積約30坪

・25年間住み続けると、家と土地が無償でもらえる。

⇒駐車料金や敷金は若干いるようですが、この取り組みは、本市に導入し、人口増に対応するべきと感じた。

- ・そして、子育て支援や教育支援も充実していて、全国でも4つしかない20歳まで医療費無料、保育施設・小中学校の給食費無料、第2子以降の保育料が無料の他に、出産サポートや児童クラブは、すべての小学校区に設置。移住された世帯や子どもたちにも、支援策として魅力と感じた。

- ・教育⇒学習環境について、ですが、全小中学校の教室や体育館など100%エアコン完備、学校から2Km 以上はスクールバス対応、ウォッシュレット付きトイレの推進、無料で受けられる先進的な英語教育(すべての小中学校に複数のALTが常駐)。とても、素晴らしい取り組みで移住する条件に、とても、寄与していると思った。

ALTとは、(アシスタント・ランゲージ・ティーチャー)の略で、日本の小中学校において、英語の授業を助け、生徒に生きた英語や国際的な

感覚を伝える役割としています！きめ細やかな対応と感じた。

本市でも様々な取組をしているが、鳥取市を選んでいただけるよう新しい
施策に取り組んでいくべきと感じた！



日時；11月19日（水）14：30～16：30、茨城県古河市長谷町 38－18

面会者；古河市役所）教育部）文化振興課）宇津木かおる 様
古河市役所）教育部）スポーツ振興課）森谷課長 様
古河市役所）教育部）スポーツ振興課）中山 KH 様
古河市役所）教育部）スポーツ振興課）牧川係長 様
古河市役所）教育委員会）島村部長 様
古河市役所）教育委員会）スポーツ振興課）長谷川係長 様
古河市議会事務局）鈴木様

<古河市役所・市議会>

スポーツフェスタ古河 2025 について

<事業概要>

古河市では、「誰もが、いつでも、どこでも、参加できるスポーツの推進～スポーツタウン古河～」の実現に向けてスポーツを通じた健康増進と地域交流の促進を重点施策として位置づけておられる。

古河市スポーツ推進計画⇒2020 年（令和 2 年 3 月策定）

施策の方向⇒【市民運動会】については、地区対抗の競技的な内容だけでなく、全市民が参加でき、スポーツの楽しみを感じることができる【フェスティバル】のようなことも含め検討する。

これまで、3 地区ごとで開催していた【市民運動会】は、参加する自治会・行政区の減少などの課題があるため、今後の運営方法について、市民アンケート調査結果を実施し、その結果を参考に見直した結果⇒2021 年（令和 3 年度）をもって、【廃止】とした。

2022 年（令和 4 年度）から、代替イベントとして、現在の市民ニーズに即した新たなスポーツ行事となるよう、個人グループが自由に様々なスポーツを体験することができる参加型のスポーツイベント【スポーツフェスタ古河】と称して、古河市イーエス中央運動公園を拠点としたスポーツ施設で初開催された。

<経過>

- ・1 回目「スポーツフェスタ古河 2022」開催令和 4 年 11 月 3 日⇒4000 人参加
- ・2 回目「スポーツフェスタ古河 2023」開催令和 5 年 11 月 3 日⇒8500 人参加
- ・3 回目「スポーツフェスタ古河 2024」開催令和 6 年 11 月 4 日⇒12000 人参加
- ・4 回目「スポーツフェスタ古河 2025」開催令和 7 年 11 月 3 日⇒15000 人参加

<目的>

古河市スポーツ推進計画「誰もが、いつでも、どこでも、参加できるスポーツの推進」基本理念のもと、「小さいお子さんから高齢の方まで、全ての世代が運動に親しむきっかけづくり」を体験することで、今後も幅広い競技の体験を通じてスポーツに親しみを持っていただきながら、健康増進を図ることを目的とし、幼少期からスポーツ活動に対する意識啓発も含めて継続化を目指す。とされていて、好感を持った。

<所見>

- ・トップアスリートの技を実際に【みる】・【体験】できるように、計画されており、素晴らしい取り組みと感じた。
- ・「スポーツフェスタ古河」の【拡充】を図りながら、市内外から多くの方々に市へ足を運んでもらえるよう、様々な工夫をされていて、毎年参加人数増加に向けて努力が伺えた。
- ・人をどうすれば来ていただけるか？種目も当初 22 種目⇒令和 7 年は 47 種目と倍増にされ、子ども～高齢者まで参加できる種目を導入していて、素晴らしいと感じた。
- ・3つの柱【みる】・【体験できる】・【きっかけづくり】を合言葉に取り組んでおられ、改善しながら議論を重ね、【関東一】のフェスティバルを目指しておられ、関係スタッフの努力が伺え、本市にも取り入れ可能と思った。
- ・高齢者フレイル予防として、将棋・囲碁・オセロ・スポーツ吹き矢・e スポーツなど取り入れされており、参加しやすさの追求効果が伺われ、本市も考えては！と思った。
- ・地元出身のトップアスリートを招き、色々なスポーツに取り組んでおられ、見る・体験に寄与されており、参加市民は感動しているとのこと。参加人口増加に繋がっていると感じた。



視 察 報 告 書

令和7年11月28日

鳥取市議会議長 星見 健蔵 様

鳥取市議会 会派未来ネット 長坂 則翁

令和7年11月17日から令和7年11月19日まで鳥取市議会「会派未来ネット」の視察に参加したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

所見等：茨城県水戸市

※調査項目---米の再生二期作について(有)照沼農園

照沼農園は、2004年の創業。自所有の17haと委託5haの米生産をメインとし、水稲種子の受託生産も行っている。

2020年からは農福連携を活用し、26名のハウスビニール栽培の水耕栽培とアスパラガス栽培も手掛けている。少々特殊な経営も行っている。

米の再生二期作は、4月中旬頃に田植えを行い、8月中旬に一度目の稲刈り(40cmの高刈り)を行い、二度目の稲刈りは、11月の後半に行なっている。

照沼農園は、正社員1名でパートが1名。農福連携の作業委託で水戸市内の3つの福祉事業所から15名が従事している。

農福連携のスタッフは、主に野菜の水耕栽培を行なっている。

〔所見〕

。今日、農業を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化、後継者不足など深刻な状況となっている。

。鳥取県は農業県であり農業を守り育ていくことは、大変重要な課題であり、また農業従事者の所得向上も課題と考える。

- 米の再生二期作は農業従事者の所得向上の観点からも重要と考えられ、しかし鳥取県の気候・風土に合致しているかどうか、十分調査検討をしておく必要がある。

茨城県水戸市

※調査項目――水戸市民会館・水戸美術館

水戸市民会館

(初代) 1972年～2011年

1972年(昭和47年)12月に初代の水戸市民会館が開館した。

1988年(平成10年度)までは結婚式場としても利用され、約5,000組の利用があった。2011年(平成23年)までの38年間の年間約30万人、累計1,300万人の利用があった。

しかし、2011年(平成23年)東日本大震災で被災して使用不能となった。2012年(平成24年)の耐震診断の結果、大規模な耐震化工事が必要とされたため、2014年(平成26年)に解体された。

(2代目) 2022年～

泉町1丁目北地区市街地再開発事業として、旧京成百貨店跡地に2代目の水戸市民会館が建設された。2022年(令和4年)10月31日に竣工し、2023年(令和5年)7月2日に正式開館した。事業費は19億5,000万円。

[所見]

- 特に市民会館の発想と考えると、1Fや2F広場は、イベントや野菜市場も行われており、魅力的に感じた。
- 鳥取市も現在文化施設の統合の課題があるが、重要なことは、中心市街地の賑わいをどう取り戻すかが求められている。

水戸芸術館

概要

・設計期間 昭和61年(1986年)12月~昭和63年(1988年)2月

・施工期間 昭和63年(1988年)3月~平成2年(1990年)2月

・施設 コンサートホール 620~680席

劇場 472席~636席

リハーサル室 3室

展示室 9室 壁面長 285m

会議室 78席

塔 100m (予定施行100周年記念ビル)

地下駐車場 217台、エレベーター、エントランス

・総事業費 10,555,842千円

[所見]

〇芝生の広場をとり囲むように、コンサートホール、劇場、現代美術ギャラリーの3つの独立した施設があり、3部門がそれぞれ、自主企画による多彩な魅力あふれる事業が各々展開されており、また地域の文化活動の拠点として、市民と連携して行うさまざまな企画も実施されており、盛勤した。

〇鳥取市においても文化施設の統合の課題があるが、市民の文化芸術活動の拠点となるよう施設建設に力を入れ、先進都市の事例も参考に、検討すべきと考えらる。

茨城県境町

※調査項目---移住・定住について

境町は子育て支援日本一を目指し、子どもたちの未来のために、最大限の投資を行っている。

・先進的な英語教育

先進英語教育も保育園：小・中学生が無料で行い、英検も無料
 充実した教育環境

・全小・中学校にエアコン100%完備(校舎、体育施設)

・スクールバスが充実(徒歩2km以上の児童)

・トイレ洋式化(全小・中学校)

・児童クラブ(定員も増増)

・返着免除の助成金(最大年額48万円=条件あり)

・安いき育てサポート

・初回の産科受診料助成 ・育児用品購入クーポン(最大3万円)

・又次子、三つ子等の健診助成 ・出産祝い品プレゼント

・米3子以降の出産には50万円 ・分娩ベッド購入助成(最大8,000円)

・産前産後ヘルパー事業

・小学生・中学生へのサポート

・小・中学校の給食費無料(所得制限なし)

・お子さんや子育て世代への様々なサポート

・子ども医療費(20歳まで無料)

・インフルエンザ予防接種(1,000円補助=最大2回分)

・入学祝い金(小・高に入学する人に各3万円)

・おちふくがせ予防接種(3,000円補助=1歳から未就学児、条件あり)

・子ども食堂、弁当無料(土日限定=個数限定)

・子育て世帯向け住宅を整備

○25年間住み続けると家と土地がもらえる。

PII賃貸マンション、PII賃貸戸建住宅、リノベーション住宅

(家賃月額52,000円) (家賃月額68,000円) (家賃月額200,000円)

・(入居条件)

子育て世帯、新婚世帯、年齢条件45才以下

所得要件月額175,000円以上ある者

(所外から転入する世帯を優先)

・境町に住みたい方への奨励金、補助金

○町民税相当額が最大50% (初めて転入の方で最大7割)

○子育て、新婚世帯で住宅を取得した方へ50万円(要件あり)

○新築・購入住宅の固定資産税相当額7割減(要件あり)

○子育て、新婚世帯で民間賃貸家賃補助として最大6万円(要件あり)

○新婚世帯の住宅・家賃引越代補助として最大60万円(要件あり)

[所見]

○鳥取市においてむしろ若者、県外流出など人口減少が進行している。

○鳥取市に次総合計画案が答申されたが、人口増加対策は極めて重要な課題である。

○人口増加対策へ向け先進事例(他都府)を参考に施策(確立)していかなければならないと考える。

茨城県古河市

※調査項目---スポーツフェスタ2025について

①導入の概要・経過

古河市では、「誰もが、いつでも、どこでも」参加できる

スポーツの推進とスポーツタウン古河への実現に向けスポーツを通じた健康増進と地域交流の促進を重点施策として、位置づけている。

○施策の方向：「市民運動会」については、地区対抗の競技的な内容だけでなく、全市民が参加でき、スポーツの楽しさを感じることができ、フェスティバルのようなことも含めて検討する。

これまで地区ごとで開催していた市民運動会は、参加する自治会・行政区の減少などの課題があるため、今後の運営手続について、市民アンケート調査結果と実施し、その結果を参考に見直した結果、2021年(令和3年度)をもって廃止した。

そして、2022年(令和4年度)から、その代替イベントとして現在、市民ニズに即ち新たなスポーツ行事となるよう、個人・グループが自由に様々なスポーツを体験することができ、参加型のスポーツイベント「スポーツフェスタ古河」と称して、古河市一ノ宮中央運動公園を拠点としたスポーツ施設で初開催した。

(経過)

1回目	スポーツフェスタ古河2022	開催日(令和4年11月3日)	体験種目	22種目	参加者延べ	4,000人
2回目	" 2023	" 5年11月3日	"	30種目	"	8,500人
3回目	" 2024	" 6年11月4日	"	40種目	"	120,000人
4回目	" 2025	" 7年11月3日	"	45種目	"	150,000人

② 今後の課題

- 開催環境の検討(ハード面)
- 運営体制の持続性
- 参加者の偏り
- 広報活動の強化

[所見]

- スポーツは、世界共通の文化である。
- 鳥取市も、市民体育祭(今年度よりスポーツ大会)も開催し、今年で68回となり、参加者も毎年1万人以上の参加となっている。また鳥取市スポ.レク祭も10回(今年)となり、約1500人程度の参加者が楽しんでいる。
- 少子・高齢化が進んでいるが、今後ともスポーツ振興、積極的に取り組んでいかなければならないと考える。

視 察 報 告 書

令和7年12月7日

鳥取市議会議長 様

会派未来ネット 米村 京子

令和7年11月17日（月）から11月19日（水）まで、「鳥取市議会会派未来ネット」の視察に参加したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

○令和7年11月17日（月）茨城県水戸市 （有）照沼農園

（有）照沼農園で米の再生2期作についてお話を聞きました。

ドローン直播と再生2期作で米作りの省力化を進め臆することなく最新技術を取り入れ、低コスト高収入を目指しています。本市も、すでにドローンを使用していますが2期作までになっていません。この照沼農園は、広大な敷地を有し、敷地面積では、本市とは比べようがないくらいです。年間収入も数億円と、敷地内に多くのもみ殻が山積みになっている状態でした。

水戸市は関東平野にありとても広く、鳥取とは比べられない広さです。住居があり、牛舎があり、作業場とビニールハウスも同じ敷地内にあり規模の違いに圧倒されっぱなしでした。年収は1億円を超えており、まだまだ期待が持てると代表者の方は感じているようでした。

やはり夢と希望が持てる農業、本市もすでにドローンを取り入れた農業を始めています。今後が期待できる素晴らしい本市の生産も期待しています。

○11月18日（火）水戸市役所の水戸市民会館・水戸芸術館

水戸市民会館・水戸芸術館についてお話を伺いました。水戸芸術館は大中小と演目に分かれ（コンサートホール・美術作品・ギャラリーなど）多彩な催しが行われています。ホール・劇場・ギャラリーと用途に合わせた作りになっており、独特の設計にいたく惹かれました。市民会館の1階入口は、他都市でも見られない素晴らしい空間でした。

○11月18日（火）茨城県境町

次に茨城県境町、まちづくり公社の人に移住定住についてお話を伺いました。都心との交通の便が良い所で、小学校の時から先進的な英語教育が実施されていました。英検がただで受けられるなど子育てに特化した制度があり、一層移住を促進しているのではないのでしょうか。見習うべき支援を本市も考えていく必要があると思います。移住への大きな期待がうかがえるところでした。

○11月19日（水）茨城県古河市

古河市へ行きました。古河市はスポーツに特化した市で、全国的なスポーツ大会など2025年のスポーツフェスタを開催し、日本を代表する選手の写真が多数展示されていました。スポーツを中心とした街づくり、大いに本市においても参考になると感じました。

(様式第3号)

政務活動報告書

会派名 (会派未来ネット)

活動事項	行政視察
活動年月日	令和8年1月26日(月)～令和8年1月28日(水)
場所	愛知県刈谷市・長野県塩尻市
活動の相手	同上
参加議員名	勝田鮮二・長坂則翁・米村京子
目的・内容 ・結果等	〈視察項目〉 刈谷市 ・「小中学校体育館空調設備整備事業について」 塩尻市 ・「市民交流センターえんぱーくについて」 ・「自動運転バスについて」 〈所見等〉 別紙のとおり
関連する 支出伝票番号	44・45・47～50

視 察 報 告 書（委員用）

2026 年 3 月 20 日

鳥取市議会議長 様

鳥取市議会
勝田 鮮二



令和 8 年 1 月 26 日から令和 8 年 1 月 28 日まで行政視察に参加したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

日時；1 月 26 日（月）14：00～15：30 愛知県刈谷市東陽町 1 丁目 1 番地
刈谷市⇒人口；152, 774 人 面積；50.39km² 議員数；28 名
世帯数；70, 458 世帯 市制施行；昭和 25 年 4 月 1 日
面会者；
刈谷市議会）議会事務局） 様

<現地視察>

小・中学校体育館、空調設備整備事業について

<事業概要>

- ・小中学校の普通教室について、令和元年度に空調設備の整備を完了したが、体育館・武道場については未整備とのこと。
- ・近年の夏の暑さに、早急に対応するため、R6 年～7 年度にかけて体育館・武道場（102 校・127 施設）に空調設備を整備するとの事。
- ・都市ガス供給エリア⇒GHP（ガスとプロパン）を選定設置
- ・ * 未供給エリア⇒EHP（電気とプロパン）を選定設置

（各学校からの声はどうか？）

- ・熱中症の生徒が減った。
- ・児童生徒の集中力があがり、笑顔が増えた。
- ・教職員から、その日の WBGT に応じて、体育の授業カリキュラムを変更せずにすみ、助かっている！と説明あり。

（運用後の課題や評価はどうなっているか？）

- ・空調機器の運用方針では、夏季の温度設定を明確に規定していないため、学校ごとで温度や風量の設定が異なる。
- ・喚気のために開放する開口部の大きさが、学校ごとに異なるため、電気使用量など確認し、必要に応じて運用方針の見直しも検討する！予定とされている。と説明あり。

<所見>

- ・避難所に位置づけられた体育館⇒災害時に電気や都市ガスが停止になった場合でも一定期間稼働できるよう、自立型GHPを整備されていて、本市の参考にしたい。
- ・都市ガス供給エリアの避難所⇒平時は都市ガスとLPガスで全ての空調設備が稼働できるようガスの切り替えバルブを設置してあり！との事。おおいに参考としたい。
- ・都市ガス未供給エリアの避難所⇒平時も災害時も全ての機器がLPガスで稼働できるようになっている！参考にしたい。
- ・総事業費と設置の考え方；65億円
1/2⇒国の補助金としている。
残りは、地元負担（2年間で捻出）とされているが、目線が、子ども達の熱中症対策と公平公正な教育の観点で全学校の体育館や武道館に設置されており、とても参考となった。本市の行政も参考し、すべてにおいて設置するべきと考える。
- ・本市は、これからモデル校への設置を実施するが、避難所・以外の体育館、武道館へも早期に設置し、子ども達や地域住民の熱中症対策及び環境整備対応をすることは喫緊の課題だ！しっかりと訴えていく。



1月27日（火）13：30～15：00 長野県塩尻市大門7番町3-3

刈谷市⇒人口；64,873人 面積；289.98km² 議員数；18名

世帯数；29,415世帯 市制施行；昭和34年4月1日

面会者；塩尻市 交流文化部）市民交流センター長

（兼）図書館長 矢澤昭義 様

塩尻市議会）議会事務局）係長）茅野勇史 様

<現地視察>【複合施設】

市民交流センター「えんぱーく」について

<概要>

基本コンセプト⇒ {知恵の交流を通じた人づくり場}

誰もが気軽に立ち寄れる施設として、役立つ情報を提供し、皆さんの意欲と活動を応援する。

<5つの重点分野を持つ複合施設>

- ① 図書館
- ② 子育て支援・青少年交流
- ③ シニア活動支援
- ④ ビジネス支援
- ⑤ 市民活動支援

この5つが個々に機能を発揮するとともに、各分野が有機的に連携し、相乗効果を生み出す融合事業（交流企画事業）も展開していく。

<施設の規模と特徴>

地下1階、地上5階建て、面積12,000m²

4つの大きな吹き抜けを通じて自然の光が降り注ぎ、広場のような楽しい空間が広がる。

- ・壁柱（かべばしら）と呼ばれる、厚さ20cmの薄い板状の壁が建物を支える。
- ・三方がガラスで、どこにいても開放的な気分を味わうことが出来、周辺からも中の活動を見ることができる。
- ・建物全体が公園のように親しみやすく、様々な空間体験を通じて、誰もがわくわくする施設を目指す。

<所見>

- ・図書館を中心に、市民活動支援や子育て支援・青少年交流、ビジネス支援、市民活動支援をうまく融合していて、複合施設として本市の参考としたい。
- ・すべての年齢に対応していて、様々な企画運営しており参照としたい。
- ・知恵と意欲を持つ人が集い、活発に活動されていて、好循環となっている、本市に、このような複合施設を民間の資金やノウハウを活用し、整備できれば最高だ！おおいに参考としたい。



1月28日（水）9：00～11：00 長野県塩尻市大門一番町 7-1（CORE 塩尻）
塩尻市）商工観光部）先端産業振興室）松倉係長 様
塩尻市振興公社）地域 DX 事業部）次世代交通推進事業
宮坂マネージャー 様
市議会事務局）係長）茅野勇史 様

自動運転バス導入について（現地視察）

塩尻市では、人口減少や少子高齢化が進む中、高齢者や子育て世帯が安心して暮らせる生活環境を実現し、持続可能な都市経営とするために「まちなかの便利な生活」と「農山村地域のゆとりのある生活」を両立する【コンパクトシティ・プラス・ネットワーク】の都市構造の構築を目指している。

2020 年⇒アイサンテクノロジー(株)、(株)ティアフォー、エプソンなど5社と共に、自動運転技術を用いた新たな【モビリティサービス】の事業化を通じて、地域住民の移動の利便性向上等地域交通の課題解決を進めることを目的とした包括連携協定を締結。

市立地適正化計画と市地域公共交通計画において連携・整合を図りながら、官民連携体制の下、地域課題解決に向けて自動運転等の新たなモビリティサービスの実証実験の推進。

2024 年⇒道路交通法に基づく特定自動運行の許可を取得。

2025 年⇒運行実証。一般公道の歩者混在空間において、バス型車両で

- ・運転席無人とした特定自動運行「全国初」の取り組みを実施。
- ・モビリティサービスを社会実装した実績、経験を最大限に活用し、特定自動運行【レベル4】を含めた自動運転サービスの社会実装を目指す。
- ・自動運転バス乗車予約は、アプリから実施する。

<所見>

- ・本市が実証利用したバスと同型で、大きさ・社内設備・外部設備等同じと感じた。（レベル4）運転者無人化検証を全国初の取り組みをされていて、本市の参考となった。
- ・雪の対応について尋ねたが、ほとんど降雪は無い！とのこと。
- ・後続車の対応について、市民への広報をしっかりとし、走るルートや時間帯について広報し、協力頂いているとのこと。市民の理解は必要と感じた。
- ・アプリが使えない利用者に対し、サービス格差防止のため、電話予約受付にテレワーカー15名が従事しておられ、とても良い政策と感じた。
- ・自動運転車両、一般自家用車、歩行者、自転車等に対して、それぞれの接近情報を共有し、見通しの悪い交差点等にスマートポールを設置され、安全環境を整備されており参考となった。



視 察 報 告 書

令和 8 年 2 月 10 日

鳥取市議会議長 星見 健蔵 様

鳥取市議会 会派未来ネット 長坂 則翁

令和 8 年 1 月 26 日から令和 8 年 1 月 28 日まで鳥取市議会「会派未来ネット」の視察に参加したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

所見等：

愛知県刈谷市

調査項目：小中学校体育館空調設備整備事業について

〔目的〕

体育館等に空調設備を設置し、教育環境の向上及び避難所機能の強化を図る。

(指定避難所は全体 23 ヶ所、小中学校 24 ヶ所、その他 16 ヶ所)

〔実績〕

(1) 令和 4 年度に全小中学校への設置に引き続き、全中学校体育館、武道場等に空調設備を設置した。体育館は、フリー面積が減少しないよう、足場から吊り下げる形としている。

(2) 設備概要

ア、都市ガス、プロパンガス併用の GHP (ガスヒートポンプエアー) 式を採用
イ、電源自立型、室外機を備え、停電時においても電力供給なしで運転を開始し、発電した電力で、体育館のトイレ一部の照明と継続して利用することが出来る。

ウ、都市ガスが寸断された場合でも、プロパンガスでの運転に切り替え、継続して空調も運転することが出来る。

[成果]

- (1) 体育授業や部活動、学校行事における熱中症予防や集中力の向上を図り、教育環境を改善することができた。
- (2) 災害時における避難所の機能強化を図ることができた。
- (3) 敬老会などの地区行事や選挙投票所、環境を改善することができた。
- (4) 学校施設スポーツ開放利用時、活動環境を改善することができた。

[今後の課題]

設置後20年経過を目途に設備の更新時期が到来するため、同時期に更新費用が必要となる。

所見

- ・本市も現在、茨城小中学校を対象に体育館の空調設備を試験的に導入が予定されているが、愛知県や都府と比較するとかなり遅れている。
- ・教育環境の改善と共に災害時の指定避難所にもなる学校体育館の空調設備の整備は極めて重要である。
- ・本市としても、有利な財源も活用しながら、学校体育館の空調設備整備事業は急がなければならない。

長野県塩尻市

調査項目: 市民交流センター「えんぱーく」について

① 基本コンセプト(知恵の交流を通じた人づくりの場)

市民交流センターは誰もが気軽に立ち寄れる施設とし、役立つ情報も提供し、皆との意欲に活動を支援する。

知恵と意欲を持つ人が集い、活発に活動、交流することによって、新たな価値が創出され、更に多くの人を巻き込む場へと進化する知恵の好循環を生み出す。

② 5つの重点分野を持つ複合施設

市民交流センターは「図書館」「子育て支援」「青少年交流」「シニア活動支援」「ビジネス支援」「市民活動支援」の5つの重点分野は複合施設である。

この5つが個々に機能を発揮するとともに、各分野が有機的に連携し相乗効果を生み出す新たな事業(交流企画事業)も展開している。

③ 建設事業概要

着工: 平成20年12月

建設主体: 「大田中央通り地区利権市街地再開発組合」

事業名称: 「大田中央通り地区利権市街地再開発事業」

事業費: 約51.6億円(うち建物工事費39.3億円)

市費購入費: 約35.1億円(土地約5.4億円建物約29.7億円)

※床の約1割を市が購入

開館: 平成22年7月

施設概要: 地上5階・地下1階、免震構造

※商業施設・市営立体駐車場と通路が3階に接続

⑤ えんぱーくらぶの運営体制と課題

運営体制：各団体から選出された運営委員 代表、副代表、会計

運営委員会、総会を開催し運営、企画

運営経費：市からの委託料を受け、経費を管理

運営上の課題：各団体の活動を推進する役割に加え、

えんぱーくらぶの運営を行うことが

負担増となり、役員選出が困難となっている

所見

・市民交流センター(えんぱーく)は中心市街地の活性化を図る目的で建設されており、平日にも関わらず、多数の市民が利用し賑わっていることが印象的であった。

・本市も鶴取駅前再整備が進められ、中で文化施設の再編整備も含め中心市街地の活性化に向け、新たな複合施設、建設を検討しなければならぬと考える。

長野県塩尻市

調査項目: 自動運転バスについて

① はじめに

塩尻市では人口減少と少子高齢化が進む中、高齢者や子育て世代が安心して暮らせる生活環境を実現し、持続可能な都市運営とするため、「まちなかの便利な生活」と「農山村地域のゆとりある生活」を両立する「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市構造の構築を目指している。

今後、高齢化社会において、高齢者を中心とした交通弱者の生活を守るためには、将来にわたって持続可能な地域交通を構築することが必要不可欠である。

② 概要

2020年に自動運転技術を用いた新たなモビリティサービスの事業化を通じて、地域住民の移動の利便性向上等、地域交通の課題解決を図ることも目的とした市社との包括連携協定を締結し、官民連携体制の下、地域課題解決に向けて自動運転等、新たなモビリティサービスの実証実験を推進してきた。2024年度には、特定自動運行の許可を取得し、令和7年1月から2月にかけ運行実証を行った。一般公道の歩車混在空間においてバス型車両で運転席無人とした特定自動運行は「全国初」の取り組みであった。(2025年3月時点)

◎ 今後と展開

官民・地域連携体制と新たなモビリティサービスも社会実験実績、経験も最大限活用し、2025年には特定自動運転（レベル4）も含めた自動運転サービスの社会実装を目指す。また、自家用車から地域公共交通サービスへの転換を目指し、地域密着/生活者視点で公共交通も選択肢に引き上げるアプリを構築し、自動運転バス乗車予約は同アプリから実施する予定である。

所見

~~本市も昨年~~

- ・バス運転手の高齢化や人手不足により、全国的にバス路線の維持が大きな課題となっている。
- ・そのような中で、本市も昨年12月に自動運転バスの実証事業を実施した。
- ・レベル課題、問題点はあると考える
- ・自動運転バス導入にあたっては、十分な検討が必要と考えるし、地域住民への連携も必要と考える。

様式 5

視 察 報 告 書 (委員用)

令和 8 年 2 月 4 日

鳥取市議会議長 様

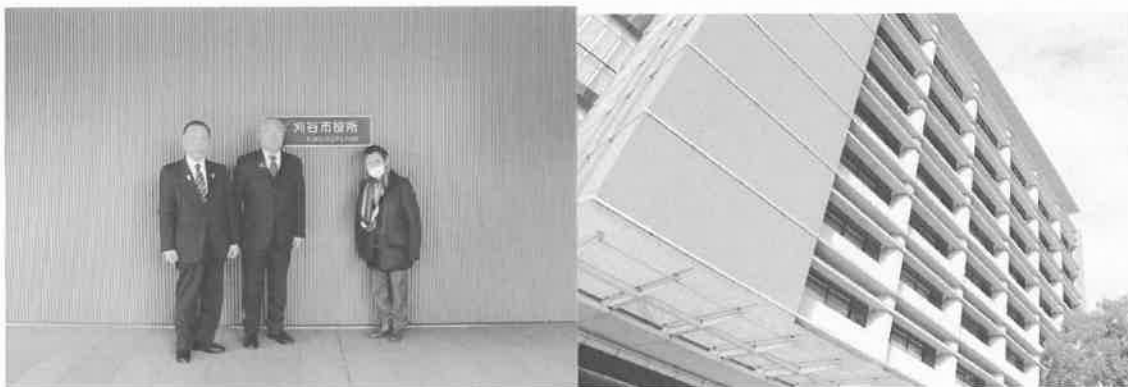
鳥取市議会未来ネット
米村京子

令和 8 年 1 月 2 6 日 (月) から 1 月 2 8 日 (水) まで会派未来ネット行政視察 (調査) に参加したので、その結果を下記のとおり報告します。

記

令和 8 年 1 月 2 6 日 (月) 刈谷市役所について

日本 1 のトヨタ自動車企業の誘致により機密機械工場や精密機械工場など多くの下請け企業が設置され振興工業都市として大きくなりました。



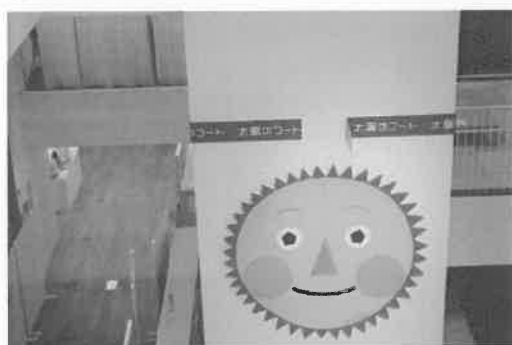
次に小中学校体育館空調設備事業について現場を見学しました。

熱中症予防のため体育館の空調設備は、本市と異なり中間に設置されていました。利用するエネルギーは、スイッチの切り忘れ防止のため 3 時間で電源がオフになる設定にしてあるようです。

動力源は、プロパンガス併用の GHP ガスヒートポンプエアコン方式を採用しているプロパンガスとの動力切り替えは複雑で大きな装置が必要でした。新しい機械と古い機械では大きく異なっているようです。特にプロパンガスの大きさは見たことのない大きさでした。



令和8年1月27日（火）塩尻市の市民交流センター「エンパーク」について
一階ごとに広いフロアーでゆったりと市民子供からお年寄りまでゆったりとくつろいでいる姿が印象的でした。1階のモニュメント黄色が素晴らしく思わず目を見張りました。図書館と違った図書数の多さ、このような空間ではなかなか体験することができない空間でした。



令和8年1月28日（水）自動運転バスについて
本市でも自動運転バスの試乗会があり乗車し、塩尻市のバスのことが話題になり今回視察に塩尻市を選び試乗しました。

